

実学を120年。「経営 経済」のKAETSU



2024年度

入学試験問題

政策・税務・会計領域

マネジメント領域

情報領域

嘉悦大学大学院
ビジネス創造研究科
【博士前期課程】

嘉悦大学大学院 2024 年度入試 試験問題《政策・税務・会計領域》

第 1 期の試験問題

次の問題から一つを選んで、あなたの考えを 1,200 字以内で解答しなさい。

また、解答用紙に選択した問題番号を○(マル)で囲みなさい。

問題番号 1

外生的なショック(戦争等)によって、一時的な総需要不足が発生したとしよう。このとき、総需要政策として、以下の 3 つの政策が提案されたとする。

- ・政策 A: 政府が追加的に公共投資を実施する
- ・政策 B: 家計に対して所得税減税を実施する
- ・政策 C: 家計に対して現金給付を実施する

政策 A から政策 C で政策効果にはどのような違いが出るであろうか。それぞれの政策の利点、欠点をできる限り列挙したうえで、考えられる政策効果の違いについてあなたの考えを理由とともに記述せよ。具体的な事例(例えば令和 5 年度補正予算に関連する事例)を挙げて議論しても良い。

問題番号 2

以下の(1)及び(2)について、両方とも解答しなさい。

(1)日本の所得税について、以下の用語をすべて使用しつつ(使用する順番は問わない)、納税額の算出プロセスを論述しなさい。

- ・所得区分
- ・税率
- ・所得控除
- ・税額控除
- ・総合課税
- ・分離課税

(2)日本の法人税の計算において、役員給与を損金に算入できる場合について論述しなさい。

問題番号 3

決算で算定される貸倒引当金は、受取手形、売掛金、貸付金等の金銭債権が、次期以降に回収不能となる可能性がある場合に設定される。以下、①決算整理事項、②金銭債権の区分、③貸倒見積高の算定方法、④貸倒引当金の表示方法について述べなさい。

第2期の試験問題

次の問題から一つを選んで、あなたの考えを1,200字以内で解答しなさい。
また、解答用紙に選択した問題番号を○(マル)で囲みなさい。

問題番号1

タクシー(旅客自動車運送サービス)市場を考えよう。以下のような市場政策が行われたとする。

- ・政策A: 政府が供給量を管理する(数量規制)
- ・政策B: 政府が価格を管理する(価格規制)
- ・政策C: 政府は市場に関与しない

政策Aから政策Cで政策効果にはどのような違いが出るであろうか。それぞれの政策の利点、欠点をできる限り列挙したうえで、考えられる政策効果の違いについてのあなたの考えを理由とともに記述せよ。

問題番号2

以下の(1)及び(2)について、両方とも解答しなさい。

(1)日本の法人税について、以下の用語の内容をそれぞれ論述しなさい。

- ・益金算入
- ・益金不算入
- ・損金算入
- ・損金不算入

(2)日本の所得税及び法人税について、それぞれの税率の仕組みを論述しなさい。

問題番号3

有形固定資産の減価償却について、以下、①意義と必要性、②記帳方法、③計算方法、④減価償却費及び減価償却累計額の表示方法について述べなさい。

第3期の試験問題

次の問題から一つを選んで、あなたの考えを1,200字以内で解答しなさい。

また、解答用紙に選択した問題番号を○(マル)で囲みなさい。

問題番号1

予期せぬイベント(例えばパンデミックや大地震)によって、ある財・サービスの需給の不均衡が突然発生したとしよう。ここでは、供給が一定のまま需要がにわか急増し、超過需要が発生したとしよう。このとき、以下の3つの政策が提案されたとする。

- ・政策 A: 供給側の企業に対して、供給量を増加させるための補助金を支給する政策
- ・政策 B: 需要側の家計に対して、需要量を減少させるための行動を支援する政策
- ・政策 C: 政府が直接、財・サービスを生産する政策

政策 A から政策 C で政策効果にはどのような違いが出るであろうか。それぞれの政策の利点、欠点をできる限り列挙したうえで、考えられる政策効果の違いについてあなたの考えを理由とともに記述せよ。具体的な事例(例えば COVID-19 や能登半島地震に関連する事例)を挙げて議論しても良い。

問題番号2

以下の(1)から(3)までについて、すべて解答しなさい。

(1) 税の三原則を挙げた上で、それぞれの内容を論述しなさい。

(2) 文理解釈及び目的論的解釈について、それぞれどのような解釈方法なのかを論述しなさい。

(3) 日本の所得税について、あなた自身が考える、制度上あるいは解釈上の問題点を論述しなさい。

問題番号3

簿記は、企業の財政状態と経営成績を明らかにするために会計期間ごとに行われる。以下、簿記一巡の手続きについて、下記の用語全てを用いて述べなさい。

- ① 決算手続、② 営業手続、③ 開始手続、④ 開始仕訳、⑤ 再振替仕訳、⑥ 決算整理仕訳、⑦ 決算振替仕訳、⑧ 期中取引仕訳、⑨ 財務諸表

嘉悦大学大学院 2024 年度入試 試験問題《マネジメント領域》

次の問題について、あなたの考えを 1,200 字以内で解答しなさい。

第 1 期の試験問題

経済情勢が激変する中、「レジリエンス経営」が近年注目を集めている。企業のレジリエンスがなぜ重要なのか、どうすればそれを高められるのか、具体例を用いて分析してみよ。

第 2 期の試験問題

新たな事業戦略の構築に欠かせないため、バリューチェーンの強化が現代の企業活動において重要視されている。では、各業界の成功事例を交えながら、バリューチェーンとサプライチェーンとの違い、バリューチェーン分析の流れおよび分析によって享受できる効果などについて、説明してみよ。

第3期の試験問題

企業が「サステナブル経営」をどのように推進すべきかについて、その導入の実例を取り上げ、以下の用語を 5 つ以上用いて論述せよ。

(ステークホルダー、SDGs、三方良し、パーパス、ESG 投資、CSR 経営、非財務価値、事業パートナー)

嘉悦大学大学院 2024 年度入試 試験問題《情報領域》

次の問題について、あなたの考えを 1,200 字以内で解答しなさい。

第 1 期

スマートフォンの高性能化が進み、その信頼性も高くなったことから、Webやアプリによる情報提供だけではなく、スマートフォン決済や個人認証手段など、幅広い社会システムとしての利用が進んでいる。しかしながら、このような便利なツールとしての利用ができる反面、プライバシー保護やセキュリティリスクなどの課題もある。スマートフォンを個人的なデジタルツールとして利用する場合のメリットとデメリットについて、具体的な事例を用いてわかりやすく説明しなさい。

第 2 期

近年、人工知能技術（AI）の進化、センサーの高性能化、アクチュエータに代表される動力部品の小型・高性能化、さらには5G や Wi-Fi 7 などの高速通信技術により、年々、高性能なロボットが開発され、社会での実用化が進みつつある。これにより、将来、我々は、ロボットにより、便利で快適なサービス享受が期待できる。しかしながら、ロボットのより幅広い普及を考える際には、人間とロボットの共存における倫理的問題や、雇用・経済活動などへの影響など、解決しなければならない課題も多い。このロボットによる新たなサービス事業の事例を提案し、そこでのメリットと同時に、前述したような課題とその解決方法について記述しなさい。

第 3 期

近年、人工知能技術（AI）の発展は著しく、単純で定型的な作業を繰り返すような業務だけでなく、知的な判断が必要となる業務、さらには、専門家をサポート・代替するような業務まで、幅広い分野で自動化やサポートが行えるようになってきている。例えば、医療におけるレントゲン画像読影、金融関連での株価推移予測、交通関連での渋滞予測と信号制御などである。しかしながら、AI 活用には、プライバシーや個人情報の保護など、多くの危険性も存在している。今までに実現していないような AI を活用した情報システムの新たなビジネス適用を考え、そこにおけるメリットとデメリットを明示しなさい。